

令和3年度 学校評価アンケート 結果、現状分析及び今後の課題

よくあてはまる 4点  
 どちらかといえばあてはまる 3点  
 どちらかというあてはまらない 2点  
 あてはまらない 1点

A : 4.0~3.4 B : 3.4~2.9 C : 2.8~2.3  
 D : 2.2~1.7 E : 1.6~1.0

領域	評価の観点	評価項目	No.	実践目標	平均	評価	担当	現状分析	今後の取組み・改善策
組織運営	学校運営全般	ニーズに応える教育	教	本校は、生徒・保護者の期待やニーズに応える教育活動を行っている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学させてよかったとの回答が多く、概ね満足度は高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、生徒・保護者の声に耳を傾け、丁寧な指導を心がけていく。</li> </ul>
			保	姫路東高校に入学させてよかった。	3.5	A			
情報提供	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	教	ホームページや年次通信等を通じて、家庭や地域に情報を発信している。	3.2	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページについては、その見た目を一新させ、より見やすいものになった。</li> <li>情報の発信という面では、量的に少ない感じも否定できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次通信と重複してもよいので、ホームページにおける年次からの情報発信を進めていく。</li> </ul>
			保	本校は、ホームページや年次通信などを通して、さまざまな情報を提供している	2.8	C			
キャリア教育	進路指導	キャリア教育の推進	教	本校は、キャリア教育（職業ガイダンス・企業訪問など）が充実している。	3.4	B	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業ガイダンスセミナーや企業訪問を経験させ、多様な職業の種類や仕事の内容を学び、働くことの意義や職業的な視野を広げさせている。</li> <li>進路講演会、進学座談会、モチベーションアップセミナー、合格体験講話を通じ、志望大学・学部選択の留意点や最新の入試動向など大学受験に必要な情報を得る機会を与え、進路選択を考えるきっかけをつくっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業ガイダンスセミナーや企業訪問については、実態(社会の変化・ニーズ)に即した講座を設定し、講師を依頼していきたい。</li> <li>模試成績を分析し、各年次に迅速に反映させ、難関大学の受験をも視野に入れた教科指導・面談等に活かす。</li> <li>進路通信なども利用し、個々の大学の入試情報や過年度の入試結果の分析資料を積極的に提供していき、自ら進路選択ができる素地を作れるようにする。</li> </ul>
			保	本校は、キャリア教育（職業ガイダンス・企業訪問など）が充実している。	3.1	B			
		進路指導体制の充実	教	本校は、将来について考え、進路目標を明確にするための情報が学校から提供されており、生徒の進路希望に応じた指導を行っている。	3.1	B			
			保	本校は、将来について考え、進路目標を明確にするための情報が学校から提供されており、生徒の進路希望に応じた指導を行っている。	3.2	B			
生徒指導	生徒指導	ハラスメント対策(いじめ防止)	教	本校は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努め、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	3.3	B	生徒部	<ul style="list-style-type: none"> <li>3回の「いじめに関する生徒調査」はもちろん、日々の生徒観察もよくなされており、予防的な対応が効果的に行われている。</li> <li>保護者への認知度は不十分である。行事については、昨年度よりも従前に近づきつつはあるが、内容の短縮やリモート等への変更での実施であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ対策がパターン化しないように配慮する。</li> <li>密の回避による人間関係の希薄さが一因での人間関係に不安を抱える生徒への声かけを継続させる。</li> <li>感染症対策からの観点から行事内容の制約が続くことを前提に、結果のみならず経過も適切に評価し、充実感や達成感を強く感じることができるよう自主、自発的な態度の育成に取り組む。</li> </ul>
			保	本校は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努め、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	3.1	B			
		学校行事のあり方	教	本校は、学校行事の内容が充実しており、学校生活を豊かにしている。	3.0	B			
			保	本校は、学校行事の内容が充実しており、学校生活を豊かにしている。	3.0	B			
地域連携	特別活動	地域に奉仕する心の育成	教	本校は、地域貢献活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、地域に奉仕する心を育成している。	2.8	C	生徒部	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献活動については新型コロナによる制約はあったが、姫路城の「お城清掃」や校内の少人数での緑化ボランティアなどは実施できた。</li> <li>行事については感染症対策を念頭に生徒会を中心に様々な工夫をして取り組むことができた。しかしそれらの取り組みを保護者に実際に観ていただくことはできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献やボランティアについてはこれまでの実績に加え市民局市民活動推進課などと連携をとりながら身近に参加できる地域のボランティア活動を紹介するなど、他の活動や行事とのバランスのとれた取り組みを探っていく。</li> <li>生徒会行事の運営については、リーダー性の育成を視点に生徒会を中心に自主自立の活動を呼びかけていく。</li> </ul>
			保	本校は、地域貢献活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、地域に奉仕する心を育成している。	3.1	B			
		生徒会活動の活性化	教	本校は、生徒会行事の運営に関して、生徒会を中心にして、生徒が積極的にかかわる機会をつくっている。	3.1	B			
			保	本校は、生徒会行事の運営に関して、生徒会を中心にして、生徒が積極的にかかわっている。	3.1	B			

領域	評価の観点	評価項目	No.	実践目標	平均	評価	担当	現状分析	今後の取組み・改善策
教育課程	学習指導	個に応じた丁寧な指導と指導方法・形態の工夫	教	本校は、少人数や習熟別などのきめ細かい学習指導を行い、学習内容の定着に努めている。	3.2	B	教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次進行に伴い学習集団を少人数に編成することにより少人数学習を行っている。</li> <li>・TTや習熟度別授業を行い、隔々まで目が届くように心がけている。</li> <li>・テストの点数だけで評価することのないように、複数の観点で評価することを生徒にも知らせている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数編成、習熟度別編成、TTを継続し、きめ細かく指導できるよう研鑽に努める。</li> <li>・令和4年度より新しく観点別評価を行うための準備を行っている。</li> <li>・在校生についてもテストの点数が評価のすべてではないことを徹底する。</li> </ul>
			保	本校は、少人数や習熟別などのきめ細かい学習指導を行い、学習内容の定着に努めている。	3.1	B			
		評価方法の創意工夫	教	各科目の学習評価は適切に行われている。	3.2	B			
			保	各科目の学習評価は適切に行われている。	3.2	B			
資質向上	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	教	各教科。科目において学習内容や指導方法について研鑽し、授業改善や指導力向上に向けて取り組んでいる。	3.3	B	S S H 推 進 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は全教科で研究授業を行い、全職員が教科外も含めICTを活用した授業などを参観し教科ごとに研修した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業を定期的に行い研修を重ねよりよい授業展開に努める。BYODに対応した授業の工夫を進める。</li> </ul>
			保	本校の学習指導は充実しており、教員は生徒の学力向上のために熱心に指導している。	3.3	B			
特色教育	SSH事業の活用	SSH事業への取組	教	本校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業を活用し、幅広い教育活動を展開している。	3.4	B	S S H 推 進 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究だけでなく、すべての教科で探究的な内容を取り入れたシラバスを作成し、それに基づいた授業を展開している。その結果、生徒の探究力が育ちつつある。</li> <li>・課題研究の実施は2年目となり、次第に生徒も教員も要領を得て質が向上しつつある。一方で、課題研究に対する要求水準も高まり、思考力・判断力・表現力の不足を実感する生徒も増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究をキーワードにして、さらに主体的・対話的な能力を備えた生徒の育成に努める。</li> <li>・教科での探究的内容をさらに拡大するほか、より質の高い課題研究の実施のために、生徒ガイダンスや教員研修会等をさらに充実させる。</li> <li>・保護者にも探究活動の理解を深めてもらうために、Girl'sExpo with Science Ethicsなどで課題研究の発表の場を公開する。</li> </ul>
			保	本校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業を活用し、幅広い教育活動を展開している。	3.3	B			
	課題研究	問題解決型学習の展開	教	本校は、生徒が探究活動に取り組むことで、探究活動を通じて思考力・判断力・表現力を高める教育を行っている。	3.1	B			
			保	本校は、生徒が探究活動に取り組むことで、探究活動を通じて思考力・判断力・表現力を高める教育を行っている。	3.2	B			
安全管理	防災教育	防災危機意識の向上	教	学校は、防災避難訓練等を計画的に実施し、生徒の防災と安全に対する意識を高めている。	3.2	B	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震と水害を想定した訓練を実施した。洪水が発生したと想定し、垂直に避難する訓練は今年初めて行った。</li> <li>・事前事後指導を通じて、防災や安全を考えるきっかけになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所指定されているため、地域と連携をした防災避難訓練の実施も今後検討していきたい。</li> </ul>
			保	学校は、防災避難訓練等を計画的に実施し、生徒の防災と安全に対する意識を高めている。	3.1	B			
保健管理	保健・安全教育	実践的な保健・安全教育への取組	教	学校は、日常的に感染症予防に努め、衛生的で、安心して安全な学校づくりをめざしている。	3.5	A	保健担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の健康観察やマスク着用、換気、黙食、手指アルコール消毒を中心にやってきた。特に教室の常時換気には重点を置いた。</li> <li>・保健便りの中でも感染対策に毎回触れてきたが、この内容が保護者にまで伝わっているかは分かりかねる。</li> <li>・行事などに参加していただいた保護者には本校の対策は理解していただいていると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策は基本的に今までと同じであるが、常時アップデートされた情報（それぞれの株に特徴があるため）を的確に把握し、安心して安全な学校づくりを目指したい。</li> <li>・コロナ禍で心が不安定な生徒もいるので、生徒たちの心のケアに関しては担任や部活動顧問、ご家庭と協力し、見守っていきたい。</li> <li>・有意義な学校生活とコロナ対策のバランスを見極め、対策を進めていきたい。</li> </ul>
			保	学校は、日常的に感染症予防に努め、衛生的で、安心して安全な学校づくりをめざしている。	3.2	B			

領域	評価の観点	評価項目	No.	実践目標	平均	評価	担当	現状分析	今後の取組み・改善策																																																																											
人権教育	人権教育	人権教育の計画的推進	17	教	本校は、教育活動を通じて命や人権を大切に育てており、生徒は安心・安全な学校生活を過ごすことができる。	3.1	B	人権担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育はLHR時間を使って進め、1年次では仲間づくり、2年次では具体的な人権問題、3年次では社会と自分のあり方について考えさせた。</li> <li>・生徒は校内でのあらゆる行事や体験を通して、人を思いやる心を育てているように思える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく認識されてきた人権問題（LGBTQなど）を取り上げ、多様性を認め共に生きる社会の大切さを認識させたい。</li> <li>・教師側も研修などで感受性を高めることにより、生徒の表情やクラスの雰囲気や敏感に受け止めるよう心がけたい。</li> </ul>																																																																										
				保	本校は、教育活動を通じて命や人権を大切に育てており、生徒は安心・安全な学校生活を過ごすことができる。	3.2	B				教育環境	ICT教育の導入	ICT機器の活用	18	教	本校は、ICT機器を活用し、授業内容の充実や学習の効率化を図っている。	3.3	B	情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用した研究授業を各教科で行い、生徒がタブレットを使用する授業開発を促進した。</li> <li>・校務や授業で活用できるコンテンツ利用の研修会を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット活用に関する研修会を実施し、より一層効果的なタブレットを活用した授業の促進をする。</li> <li>・Future Lab EASTの活用を促進する。</li> </ul>	保	本校は、ICT機器を活用し、授業内容の充実や学習の効率化が図られている。	3.1	B	国際理解	国際理解教育	国際交流の推進	19	教	本校は、国際交流の機会を提供し、広い視野で物事を捉えられる生徒を育成している。	3.2	B	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアのKolbe Catholic Collegeの生徒とオンライン交流会を開催した。</li> <li>・アメリカのBloomington High School Northとは、学校紹介や自己紹介の動画交流を行い、また継続的にお互いの学校生活や趣味などについて動画交流を行っている。</li> <li>・インドコルカタのストリートチルドレン支援に関する国際理解講演会を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン交流会や動画交流を継続的にを行い、生徒が語学力やコミュニケーション能力を育成できる機会を与えていく。</li> <li>・異なる文化や価値観を理解し、国際社会で主体的に生きる力を伸ばさせるために、国際理解講演会を開催する。</li> </ul>	保	本校は、国際交流の機会を提供し、広い視野で物事を捉えられる生徒を育成している。	2.9	B	環境整備	環境整備	環境整備・施設管理維持	20	教	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備に努めている。	3.0	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の老朽化が進んでいる。</li> <li>・世界文化遺産の中にある学校として文化財保護の義務がある。</li> <li>・新しい教育への興味関心が設備更新を求める声となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員の視点に立った整備計画を立案し、予算確保に努める。</li> </ul>	保	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備されている。	3.0	B	外部対応	案内・対応	窓口・電話対応	21	教	来訪者への案内、外部からの電話に対し、丁寧でわかりやすい対応をしている。	3.4	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関におけるユニバーサルな取り組みが求められており、達成できている。</li> <li>・窓口業務、電話対応における接遇については苦情もなく一定の評価をいただいている。</li> <li>・就学支援金をはじめとする各種手続きにマイナンバーカードの利用が導入されるなど、新しい制度が始まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民の目線を忘れることなく、接遇の向上に努める。</li> <li>・難解な法令用語、専門用語の使用は避け、できるだけ平易で分かりやすい表現を使用するよう努める。</li> <li>・窓口、電話対応についてはワンストップ化に努める。</li> </ul>	保	窓口や電話の対応は、丁寧でわかりやすい。	3.2	B	各種案内への対応	22	教	就学支援金や各種奨学金等の案内や、窓口手続きの説明は、わかりやすく丁寧に対応している。	3.4	B	保	就学支援金や各種奨学金等の案内や窓口手続きの説明はわかりやすく、丁寧である。	3.1	B	組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1
教育環境	ICT教育の導入	ICT機器の活用	18	教	本校は、ICT機器を活用し、授業内容の充実や学習の効率化を図っている。	3.3	B	情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用した研究授業を各教科で行い、生徒がタブレットを使用する授業開発を促進した。</li> <li>・校務や授業で活用できるコンテンツ利用の研修会を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット活用に関する研修会を実施し、より一層効果的なタブレットを活用した授業の促進をする。</li> <li>・Future Lab EASTの活用を促進する。</li> </ul>																																																																										
				保	本校は、ICT機器を活用し、授業内容の充実や学習の効率化が図られている。	3.1	B				国際理解	国際理解教育	国際交流の推進	19	教	本校は、国際交流の機会を提供し、広い視野で物事を捉えられる生徒を育成している。	3.2	B	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアのKolbe Catholic Collegeの生徒とオンライン交流会を開催した。</li> <li>・アメリカのBloomington High School Northとは、学校紹介や自己紹介の動画交流を行い、また継続的にお互いの学校生活や趣味などについて動画交流を行っている。</li> <li>・インドコルカタのストリートチルドレン支援に関する国際理解講演会を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン交流会や動画交流を継続的にを行い、生徒が語学力やコミュニケーション能力を育成できる機会を与えていく。</li> <li>・異なる文化や価値観を理解し、国際社会で主体的に生きる力を伸ばさせるために、国際理解講演会を開催する。</li> </ul>	保	本校は、国際交流の機会を提供し、広い視野で物事を捉えられる生徒を育成している。	2.9	B	環境整備	環境整備	環境整備・施設管理維持	20	教	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備に努めている。	3.0	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の老朽化が進んでいる。</li> <li>・世界文化遺産の中にある学校として文化財保護の義務がある。</li> <li>・新しい教育への興味関心が設備更新を求める声となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員の視点に立った整備計画を立案し、予算確保に努める。</li> </ul>	保	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備されている。	3.0	B	外部対応	案内・対応	窓口・電話対応	21	教	来訪者への案内、外部からの電話に対し、丁寧でわかりやすい対応をしている。	3.4	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関におけるユニバーサルな取り組みが求められており、達成できている。</li> <li>・窓口業務、電話対応における接遇については苦情もなく一定の評価をいただいている。</li> <li>・就学支援金をはじめとする各種手続きにマイナンバーカードの利用が導入されるなど、新しい制度が始まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民の目線を忘れることなく、接遇の向上に努める。</li> <li>・難解な法令用語、専門用語の使用は避け、できるだけ平易で分かりやすい表現を使用するよう努める。</li> <li>・窓口、電話対応についてはワンストップ化に努める。</li> </ul>	保	窓口や電話の対応は、丁寧でわかりやすい。	3.2	B			各種案内への対応	22	教	就学支援金や各種奨学金等の案内や、窓口手続きの説明は、わかりやすく丁寧に対応している。	3.4	B				保	就学支援金や各種奨学金等の案内や窓口手続きの説明はわかりやすく、丁寧である。	3.1	B	組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1	教	各分掌が重点目標を掲げ、機能的な組織の編成や部署間の連携を図りながら、教職員が協働して目標を達成できるよう努めている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次当初に、各分掌で重点目標を設定できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の振り返りをしっかり行い、効果的な重点目標を掲げる。</li> </ul>			
国際理解	国際理解教育	国際交流の推進	19	教	本校は、国際交流の機会を提供し、広い視野で物事を捉えられる生徒を育成している。	3.2	B	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアのKolbe Catholic Collegeの生徒とオンライン交流会を開催した。</li> <li>・アメリカのBloomington High School Northとは、学校紹介や自己紹介の動画交流を行い、また継続的にお互いの学校生活や趣味などについて動画交流を行っている。</li> <li>・インドコルカタのストリートチルドレン支援に関する国際理解講演会を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン交流会や動画交流を継続的にを行い、生徒が語学力やコミュニケーション能力を育成できる機会を与えていく。</li> <li>・異なる文化や価値観を理解し、国際社会で主体的に生きる力を伸ばさせるために、国際理解講演会を開催する。</li> </ul>																																																																										
				保	本校は、国際交流の機会を提供し、広い視野で物事を捉えられる生徒を育成している。	2.9	B				環境整備	環境整備	環境整備・施設管理維持	20	教	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備に努めている。	3.0	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の老朽化が進んでいる。</li> <li>・世界文化遺産の中にある学校として文化財保護の義務がある。</li> <li>・新しい教育への興味関心が設備更新を求める声となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員の視点に立った整備計画を立案し、予算確保に努める。</li> </ul>	保	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備されている。	3.0	B	外部対応	案内・対応	窓口・電話対応	21	教	来訪者への案内、外部からの電話に対し、丁寧でわかりやすい対応をしている。	3.4	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関におけるユニバーサルな取り組みが求められており、達成できている。</li> <li>・窓口業務、電話対応における接遇については苦情もなく一定の評価をいただいている。</li> <li>・就学支援金をはじめとする各種手続きにマイナンバーカードの利用が導入されるなど、新しい制度が始まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民の目線を忘れることなく、接遇の向上に努める。</li> <li>・難解な法令用語、専門用語の使用は避け、できるだけ平易で分かりやすい表現を使用するよう努める。</li> <li>・窓口、電話対応についてはワンストップ化に努める。</li> </ul>	保	窓口や電話の対応は、丁寧でわかりやすい。	3.2	B			各種案内への対応	22	教	就学支援金や各種奨学金等の案内や、窓口手続きの説明は、わかりやすく丁寧に対応している。	3.4	B				保	就学支援金や各種奨学金等の案内や窓口手続きの説明はわかりやすく、丁寧である。	3.1	B	組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1	教	各分掌が重点目標を掲げ、機能的な組織の編成や部署間の連携を図りながら、教職員が協働して目標を達成できるよう努めている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次当初に、各分掌で重点目標を設定できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の振り返りをしっかり行い、効果的な重点目標を掲げる。</li> </ul>																		
環境整備	環境整備	環境整備・施設管理維持	20	教	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備に努めている。	3.0	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の老朽化が進んでいる。</li> <li>・世界文化遺産の中にある学校として文化財保護の義務がある。</li> <li>・新しい教育への興味関心が設備更新を求める声となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員の視点に立った整備計画を立案し、予算確保に努める。</li> </ul>																																																																										
				保	学校の施設設備の管理がなされており、学習に適した環境が整備されている。	3.0	B				外部対応	案内・対応	窓口・電話対応	21	教	来訪者への案内、外部からの電話に対し、丁寧でわかりやすい対応をしている。	3.4	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関におけるユニバーサルな取り組みが求められており、達成できている。</li> <li>・窓口業務、電話対応における接遇については苦情もなく一定の評価をいただいている。</li> <li>・就学支援金をはじめとする各種手続きにマイナンバーカードの利用が導入されるなど、新しい制度が始まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民の目線を忘れることなく、接遇の向上に努める。</li> <li>・難解な法令用語、専門用語の使用は避け、できるだけ平易で分かりやすい表現を使用するよう努める。</li> <li>・窓口、電話対応についてはワンストップ化に努める。</li> </ul>	保	窓口や電話の対応は、丁寧でわかりやすい。	3.2	B			各種案内への対応	22	教	就学支援金や各種奨学金等の案内や、窓口手続きの説明は、わかりやすく丁寧に対応している。	3.4	B				保	就学支援金や各種奨学金等の案内や窓口手続きの説明はわかりやすく、丁寧である。	3.1	B	組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1	教	各分掌が重点目標を掲げ、機能的な組織の編成や部署間の連携を図りながら、教職員が協働して目標を達成できるよう努めている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次当初に、各分掌で重点目標を設定できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の振り返りをしっかり行い、効果的な重点目標を掲げる。</li> </ul>																																	
外部対応	案内・対応	窓口・電話対応	21	教	来訪者への案内、外部からの電話に対し、丁寧でわかりやすい対応をしている。	3.4	B	事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関におけるユニバーサルな取り組みが求められており、達成できている。</li> <li>・窓口業務、電話対応における接遇については苦情もなく一定の評価をいただいている。</li> <li>・就学支援金をはじめとする各種手続きにマイナンバーカードの利用が導入されるなど、新しい制度が始まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民の目線を忘れることなく、接遇の向上に努める。</li> <li>・難解な法令用語、専門用語の使用は避け、できるだけ平易で分かりやすい表現を使用するよう努める。</li> <li>・窓口、電話対応についてはワンストップ化に努める。</li> </ul>																																																																										
				保	窓口や電話の対応は、丁寧でわかりやすい。	3.2	B						各種案内への対応	22	教	就学支援金や各種奨学金等の案内や、窓口手続きの説明は、わかりやすく丁寧に対応している。	3.4	B				保	就学支援金や各種奨学金等の案内や窓口手続きの説明はわかりやすく、丁寧である。	3.1	B	組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1	教	各分掌が重点目標を掲げ、機能的な組織の編成や部署間の連携を図りながら、教職員が協働して目標を達成できるよう努めている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次当初に、各分掌で重点目標を設定できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の振り返りをしっかり行い、効果的な重点目標を掲げる。</li> </ul>																																																
		各種案内への対応	22	教	就学支援金や各種奨学金等の案内や、窓口手続きの説明は、わかりやすく丁寧に対応している。	3.4	B																																																																													
				保	就学支援金や各種奨学金等の案内や窓口手続きの説明はわかりやすく、丁寧である。	3.1	B				組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1	教	各分掌が重点目標を掲げ、機能的な組織の編成や部署間の連携を図りながら、教職員が協働して目標を達成できるよう努めている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次当初に、各分掌で重点目標を設定できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の振り返りをしっかり行い、効果的な重点目標を掲げる。</li> </ul>																																																															
組織	学校運営全般	校内組織の連携(教員のみ)	1	教	各分掌が重点目標を掲げ、機能的な組織の編成や部署間の連携を図りながら、教職員が協働して目標を達成できるよう努めている。	3.1	B	教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次当初に、各分掌で重点目標を設定できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の振り返りをしっかり行い、効果的な重点目標を掲げる。</li> </ul>																																																																										